

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(栃木地域)

皆川地区

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
1	松原	<p>【市道14155号線・14160号線の簡易舗装改善及び側溝の整備お願い】 松原町内の市道14155号線及び市道14160号線は、地域の方が生活道路として利用していますが、道路の舗装方法が簡易舗装のまま、壊れやすく常に補修が必要な状況になっております。壊れた箇所は、悪天候の際には、水溜りができ、補修した箇所は凸凹な為に、自転車の通行や歩行にも危険な状況で、改善の要望が出ています。このような状況を改善するため、早急な本舗装工事をお願いします。</p> <p>また、市道14155号線については、道路側溝が敷設されておらず、大雨の際、太陽光パネルが設置されている土地に降った雨が、直接反対側の農地に流れ込んでいる状況となっております。土盛りをして、雨水が道路に直接流れ込まないようにしていただきましたが、大雨の際には、土盛りした部分を乗り越えてしまいます。このような状況を改善するためにも、市道14155号線については、本舗装工事と合わせて、側溝の整備もお願いします。</p>	<p>【道路河川整備課・道路河川維持課】 ご要望の道路におきましては、簡易舗装であり、本舗装に比べ傷みやすく、補修を繰り返す管理となっております。しかし、本市においてはまだ、このような道路が多く、本舗装への切り替えが追い付かない状況であります。つきましては、本舗装までの間、路面が凸凹にならないよう、丁寧な補修を行う管理をしてみたいと考えております。本舗装につきましては、順次、計画的に進めてまいりますので、ご理解の程よろしく申し上げます。</p> <p>また、側溝の整備ではありますが、本舗装時において道路の縦横断勾配等により雨水の流出先を検討しながら雨水排水の対応をしてみたいです。事業実施までの間、土のう等で農地に流れ込まないように対応してまいります。</p>	<p>【道路河川維持課】進捗・対応状況：一部対応 平成28年7月に土のうを設置いたしました。</p>
2	北柏倉	<p>【市道14209号線の一部及び市道14200号線の簡易舗装改善のお願い】 地域の方が生活用道路として利用しております柏倉町地内の市道14209号線起点から市道14201号線終点との交わりまでの区間及び市道14200号線起点から約80m先、民家入口までの区間について、道路の舗装方法が簡易舗装のまま、壊れやすく常に補修が必要な状況になっております。</p> <p>壊れた箇所は、悪天候の際には、水溜りができ、補修した箇所は、凸凹な為に自転車の通行や歩行にも危険な状況で、改善の要望が出ています。</p> <p>このような状況を改善するため、早急な本舗装工事をお願いします。</p> <p>[当日再質問] この要望は4、5年前から要望していると言われております。私が今年自治会長になったものですから、早急にやってもらいたいという要望が自治会からありました。また新たに要望が出ましたので、最初の要望だけは早急に、簡易舗装でもなんでもやってもらいたいのですがいかがでしょうか。</p> <p>本舗装までいかないまでも、道の真ん中で草が生えてしまって困っているということで、仮舗装でもせめて。本舗装では大変ですからね。仮舗装ならそう難しくはないと思うのですが。町会のたびに話が出ていまして、5年も前から要望したって拉致があかないと口説かれてしまうのです。そういう点もありますので、1つよろしく願いいたします。</p>	<p>【道路河川維持課】 ご要望の道路におきましては、簡易舗装であり、本舗装に比べ傷みやすく、補修を繰り返す管理となっております。しかし、本市においてはまだ、このような道路が多く、本舗装への切り替えが追い付かない状況であります。つきましては、本舗装までの間、路面が凸凹にならないよう、丁寧な補修を行う管理をしてみたいと考えております。本舗装につきましては、順次、計画的に進めてまいりますので、ご理解の程よろしく申し上げます。</p> <p>舗装の要望ということでございますが、市では本舗装になっている舗装率が現在85%ということで、数字的にはおおよそではありますが、栃木地域と藤岡地域は低いものでございますので、旧栃木市内はもう少し低いものと思います。ご要望の柏倉地区の舗装ですが、現地の方も見させていただきました。順次計画的に舗装を本舗装に変えていきたいというのが我々の思いですので、順次やっていきたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと思っております。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(栃木地域)

皆川地区

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
3	北柏倉	<p>【市道14201号線の道路拡幅の早期着手及び簡易舗装改善のお願い】</p> <p>地域の方が生活用道路として利用しております柏倉町地内の市道14201号線については、昨年度、道路拡幅の早期着手をお願いし、現時点での市のお考えは、早期の整備は難しく、道普請事業や待避所等の設置も含めた整備手法について、今後も地元と相談していきたいとのございますので、改めて道路の拡幅の早期着手について、お願いをいたします。</p> <p>一方、本道路は簡易舗装のため、壊れやすく常に補修が必要な状況になっておりますが、道路の拡幅に合わせた整備をとの観点から、補修もままならず、道路の中心部には、草が生え、凸凹な為に自転車の通行や歩行にもあぶない状況となっております。</p> <p>そこで、道路拡幅には時間を要するとのことですので、このような状況を改善するためにも、道路拡幅を待たずに、本道路の本舗装を先にお願いいたしたく、要望いたします。</p>	<p>【道路河川維持課】</p> <p>ご要望の道路におきましては、簡易舗装であり、傷みやすく、補修箇所が多くなっております。しかし、市内においてこのような道路が多く、本舗装への切り替え工事が追い付かない状況であります。つきましては、本舗装工事までの間、路面が凸凹にならないよう丁寧な補修を行い、本舗装工事につきましては、順次、計画的に進めてまいりますので、ご理解の程よろしくお願いたします。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>
4	東小野口	<p>【打越地内河川改修及び河床さらいのお願い】</p> <p>打越地内の河川は昨年の豪雨時に土手が崩れてしまいました。(関口利三郎所有水田箇所)</p> <p>また、河床に土砂が蓄積して河床が浅くなっております。</p> <p>改修箇所及び河床さらいの箇所については、関口利三郎所有の水田から関口次男所有水田になります。関口清所有水田箇所につきましては、U字溝の設置をお願いします。</p> <p>これから、水害が発生する時期になりますので、早めの対応をお願い致します。</p>	<p>【道路河川維持課】</p> <p>ご要望の河床さらいにつきましては、本来農業用の用排水路であり利水関係者により管理していただくものでありますが、今回、昨年の豪雨による土砂の堆積が見受けられますので、市において、道路と並行した水路の河床浚渫をしております。</p> <p>また、水路が蛇行している箇所へのU字溝の設置要望についてであります。U型水路構造では、大型となり施工が困難なことから、柵板等の材料支給により対応させて頂きたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。</p>	<p>【道路河川維持課】進捗・対応状況:対応済</p> <p>地元と調整を行い、平成29年3月に実施しました。</p>
5	東大皆川	<p>【県道栃木佐野線拡幅工事のお願い】</p> <p>県道栃木佐野線の拡幅については、昨年も提案及び要望を提出させていただきました、お陰様で、泉橋西交差点の拡幅工事がなされ、交通渋滞及び危険な状況が緩和されました。</p> <p>一方、泉橋西交差点から皆川郵便局までの区間の拡幅については、早期完成について県と連携をしていくので、引き続き地元関係者の協力をお願いしたいとのことでありました。</p> <p>本県道は、昨今交通量が多くなり、特に東大皆川自治会地内では、朝の通勤時において、市道から県道になかなか出ていけない状況で、少し車が県道側にでると、クラクションを鳴らされたり、あわや大惨事になるような危険性ははらんでおります。</p> <p>このような状況を改善していただく為にも、早急に道路を拡幅し歩道を設置していただきますよう、よろしくお願いたします。</p>	<p>【道路河川整備課】</p> <p>本路線は、栃木市と佐野市を結び広域都市圏のネットワークを形成する重要な幹線道路であり、大型車を含めた通過交通が非常に多い路線であります。</p> <p>現在県で佐野市側から整備を進めており、今年度で皆川城内町の県道栃木田沼線入口までの区間が整備完了となりますが、ここから赤津川に架かる泉橋までの区間は部分的に歩道が設置されているものの未整備のため、朝夕の通勤時間帯は歩行者や自転車利用者にとって非常に危険な状況であると認識しております。</p> <p>このため、継続して整備を進めて頂けるよう県に要望しているところでありますが、県からは、整備済区間の西側から順次事業化を図っていきたいとのことであり、今年度から事業化のための地元調整に入り、併せて調査のための来年度予算を要望しているとの回答をいただいております。</p> <p>このため、現時点では東大皆川自治会地内の事業化はもうしばらくお時間をいただくことになると思われますが、皆様のご理解をいただきたいと思います。</p>	<p>【道路河川整備課】進捗・対応状況:対応予定</p> <p>当日の回答では、整備済区間の西側から順次事業化を図っていききたいとの回答をさせていただきましたが、県では本庁を含め泉橋から皆川郵便局(皆川中学校)の中での優先整備区間については、危険個所の調査を含め再度検討中との回答をいただいております。</p>

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(栃木地域)

皆川地区

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
6	西新井	<p>【西新井地区から泉川地区間の排水路の整備について】 西新井地区の排水は、雨水、生活排水及び灌漑用として、主にU字溝による排水溝で、泉川地区を經由し、公共河川に流入しておりますが、泉川地区の市道14234号線起点付近合流部の集水樹の部分で、大雨時に流れが停滞し、上流側のエリアが冠水するリスクを有しております。 昨年9月の大雨の際には、泉川町415番地2付近、開放型排水溝が冠水をいたしました。 このような状況を改善するため、下流側にある市道14234号線起点付近に2系統ある泉川地区排水溝の内、接続されていない1系統に対し、下流側での排水をスムーズとし、上流側の冠水のリスクを回避するための約14メートルの流路を管路で接続する排水路の整備の実施を要望いたします。</p>	<p>【道路河川整備課】 ご要望の、冠水被害の軽減のための排水路の整備についてですが、現状の構造及び降雨時の状況を調査した上で、効果的な整備が進められるよう検討していきます。</p>	<p>【道路河川整備課】進捗・対応状況：対応予定 現地を確認いたしました、事業に向け進めているところではありますが、まだまだ、市内至る所で同様の浸水対策の要望箇所があり、現在順次対応しているところでもありますので今しばらくお時間をいただきたいと思っております。</p>
7	皆川地区自治会連合会	<p>【栃木県立特別支援学校西地区にイベント会場等の設置要望】 皆川地区の西部にあります栃木特別支援学校の西側には約20ヘクタールを超える水田や休耕地があります。平成22年に斎場誘致の場所として設置要望した地域です。 この地域は、北側には皆川城址公園、南側は栃木カントリークラブのコースになっており、桜並木のきれいな環境が素晴らしい立地です。 また、交通のアクセスも良く、栃木市のほぼ真ん中に位置しています。 斎場設置が別な場所に決まりましたが、栃木市のイベント会場や公園、保育所、遊戯施設などの設置場所として適所と思います。 栃木市には総合運動公園がありますが、余りにも広すぎて不効率な会場になっています。 今後は、住宅地に変更の方が税収もアップするので良いのではないのでしょうか。 是非、今後、高齢者や子供たちが楽しく有意義な時間が過ごすことが出来る施設を創ることが出来る地域と思いますので、ご検討の程宜しくお願い申し上げます。</p>	<p>【総合政策課】 皆川地区への総合運動公園的なイベント会場等の設置につきましては、市の総合計画や都市計画マスタープラン等において、当該地域は「田園・農村的利用」と位置付けており、農業振興地域の農振農用地(いわゆる青地)でありますので、公共性が特に高い施設として具体的な整備計画により区域を確定しないと、青地から白地への変更ができません。 さらに、市街化調整区域でありますので、都市計画法により土地利用が制限されており、約20ヘクタールの土地を整備するためには、事業の必要性を検討した上で、県など関係機関等との協議が必要となります。 このようなことから、ご提案いただいた地域を新たに都市公園として整備することについては、中長期的な計画が必要になりますので、今後は市全体の土地利用を検討する中で、当該地域のあり方も検討してまいりたいと思っております。 なお、都市公園法に位置付けられた公園の用途の変更や廃止は、原則的に認められておりませんので、現在の総合運動公園を住宅地に変更していくことは困難であります。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>
8	皆川地区自治会連合会	<p>【大皆川大岩橋から県道佐野栃木線対領橋までの永野川河川環境美化のお願い】 大皆川の大岩橋から佐野栃木線の対領橋までの永野川の堤防および河川は雑木や竹林が繁茂しており環境が著しく悪くなっています。 堤防の道路を挟んで北側は、桜堤で整備されていますが、道路の反対側は雑木、竹林が生い茂っております。朝夕は特別支援学校の生徒や国学院高校栃木工業高校、栃木商業高校、栃木女子高校生達の通学路になっています。 永野川は栃木県の管轄になりますが、市といたしましても地元の要望として県に対し、早急に対処(環境美化)するよう要請をお願いいたします。 現在の環境では、川を見ることもできませんし、せっかく桜を植えても環境が悪い為にウォーキングも出来ない状況です。 朝夕の通学者が多く、今後、事件や事故が発生する可能性が多々考えられます。市から県へ改善要望をお願い致します。</p>	<p>【道路河川維持課】 ご要望の雑木や竹林の伐採につきましては、地元からの強い要望として、県に対し早急に実施して頂くよう要望したところ、現地の状況を確認のうえ対応していくとの回答を頂いております。</p>	<p>【道路河川維持課】進捗・対応状況：一部対応 皆川城東小の東側堤防を10m幅で、立竹木の伐採等を実施したところであり、また、対領橋下流は、来年度以降順次実施予定との回答を県から頂いております。</p>

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(栃木地域)

皆川地区

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
9	皆川地区 街づくり協議会	<p>【新たな事業の展開に向けた「皆川城址公園」の整備の要望について】</p> <p>シンボルマークとしての展望台が完成し4年目を迎え、城址祭りや歴史部会によるPR活動、初日の出の撮影ポイントとしての認知度が高まり、皆川地域はもとより多方面からのお客様が皆川城址公園を訪れるようになりました。単に展望台としての眺めの良さだけでなく、皆川氏の残した功績を求めての歴史家やホラ貝城を、戦術として防備に活かした要塞技術の見学者など多種にわたる方々が来城しています。</p> <p>これからは、この展望台を活かした地域興しの取組が重要であり、より一層の老若男女の来場者を増やし安定的に皆川地域に招くことが課題と認識しており、この課題解決のため、来場者増に向けた城址祭り等イベントの内容や地域の活性化への取組の検討も併せて進める必要があると考えております。そのためには、城山を訪れた際の休憩地のトイレの設置、水道、公園としての照明設備の整備が必要でありますので、今回の次なるステップへの要望の実現を是非ともお願いいたします。</p>	<p>【公園緑地課】</p> <p>皆川城址公園につきましては、「地域を守り活力ある地域を創る会・みながわ」のお力をお借りして、公園内の除草等の管理を実施しているところであります。また、皆様の熱心な活動によりまして公園利用者が増えておりますが、イベント等のソフト事業の展開により、さらに来場者を増やすことが必要であると考えております。</p> <p>本市では、昨年度より少しずつではありますが、山頂までの園路の簡易的な整備を実施しており、本年度も引き続き整備を実施する予定であります。また、来年度には、管理作業やイベント時に使用できるよう山頂までの電気設備についても整備する予定であります。</p> <p>一方、当公園につきましても、皆川城址として市の文化財の指定を受けており、工事による掘削などの現状変更が厳しく制限されている公園でもあります。ご要望のトイレ、水道、公園照明等につきましては、掘削を伴う工事が必要であることから、その整備は、非常に難しいものと考えております。</p> <p>このようなことから、本市では、来園者に対し、公園下入口にあるトイレを利用してもらうよう事前に注意喚起しておりますが、この公園が文化財であるためトイレ等の施設整備が難しい実情についてご理解いただくと共に、公園内の施設配置がわかりやすいような看板等を設置することにより、利用者の皆様の利便性が図れるよう取り組んでいきたいと考えております。</p>	<p>【公園緑地課】進捗・対応状況:対応済</p> <p>公園利用者にトイレの位置が分かるように、案内看板を設置しました。また、現在設置されている公園全体の案内板も活用されるよう維持管理に努めます。</p>
10	皆川地区 農政協力員 連絡協議会	<p>「皆川西部地区における今後の農地について」</p> <p>昨年、市農業委員会より農政協力員に調査依頼有りました「農業経営の意向に関する調査」で、担当の城南地区では、8割程度の方が、農業をやめたい、縮小したい、土地を売りたいとの意向でありました。</p> <p>城南地区は、山間部の為、田んぼが小さく手間が掛かる上に、水利条件が悪いため、米価は低く、そこにイノシシ被害等の悪条件が重なり、米を作る意欲が薄れているものと思われます。</p> <p>そこで、皆川西部地区の意向に関する調査結果において、「農地中間管理機構」に農地の貸付、委託、売り渡す等の意見が多数を占めた場合、市としてどのような対応をさせていただけるのか。又耕作放棄地を増やさないためにも、どのような対応を取っていただけるのかお伺いします。</p> <p>さらに、皆川西部地区で一番困っているのは水利の問題です。今は水が下から上に流れる時代ですので、その辺も考慮戴き、北柏倉町、南柏倉町、西小野口、志鳥町の各自治会の奥には既に長年の放棄地がありますので、その放棄地を利用し、溜池を作っていただけないでしょうか。又、東小野口、城南自治会内に既にある溜池については改修、ヘドロ除去をして、水利を確保していただき、少しでも長く米作が続けられるよう、支援の要望を併せてお願いいたします。</p>	<p>【農業振興課・農林整備課】</p> <p>昨年実施したアンケート調査では、地区内の4割の農家が5年以内に離農や規模縮小を考えている一方で、規模拡大はわずか5戸であり、人と農地の問題が深刻化している状況が浮き彫りとなりました。市農業公社では、「農地集積協力員」を配置して農地の出し手と受け手を結びつける取組を行っており、7月からは新しい農業委員会の「農地利用最適化推進委員」と連携していくこととしていますが、農地の受け手が不足しているため、農地中間管理機構の活用が大変難しくなっています。</p> <p>農地は、耕作を目的とする個人の財産であると同時に、地域の枠を超えて様々な「めぐみ」をもたらす共通の財産でもあります。これを維持していくためには、地域の一人一人が力を合わせ、ときには地区外の人巻き込みながら、多様な取組を地道に展開していくことが必要です。市としては、このような取組を地域の皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。そして、様々な制度を活用して、地域の取組を支援していきたいと考えております。</p> <p>次に、耕作放棄地を利用したため池の整備についてですが、皆川西部地区は、地下水や流域の大きな河川等の表流水を利用できる他地域と比べて、極端に農業用水の確保が難しい状況となっております。以前、県が柏倉町地内において基盤整備事業の導入を検討した際、用水確保についての調査を2回ほど行っておりますが、十分な水量が確保できないとの判断から事業化が見送られた経緯があります。しかしながら、農業用水の確保は、農業生産基盤の安定的利用や農村の持続的な発展につながる大変重要な問題でありますので、条件的に難しい状況ですが、再度、県と調整を行いながら検討していきたいと考えておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。</p> <p>また、東小野口の打越溜、城南自治会の滝ノ入溜の改修やヘドロ除去でございますが、この施設は、地域にとって大変重要な施設であり、今後も利用を継続する必要があります。しかし、双方とも主要施設である樋管や洪水吐の改修を行う必要がありますので、施設の長寿命化に向けた改修工事を検討したいと考えております。今後、国や県に補助事業の採択が受けられるよう要望を行い、早い時期に事業着手できるようにしていきたいと考えておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。</p>	<p>【農林整備課】進捗・対応状況:対応予定</p> <p>滝ノ入のため池につきましては、平成29年度に県の補助事業により改修工事を実施する予定でございます。ほかの箇所につきましても、国や県へ補助事業の要望を行い、早期に事業着手ができるようにしていきたいと思っております。</p>

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(栃木地域)

皆川地区

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
11	参加者	<p>昨日、防災無線で放送があったということですが、皆川には城東小学校、皆川中、それと緑地公園の3か所に設置してあるとのことですが、私は城南というところで山間部なんです。そのために放送が全然聞こえなかったというのが事実でございます。特に皆川には北柏倉・南柏倉・小野口・コシヒカゲとか、高速道路に邪魔されて陰にある地区もある。地域的に聞こえないところが多々あるものですから、これを、先ほど、見直すことも考えているということでありましたので、再度増設のお願いをしたいのですが、いかがでしょうか。</p>	<p>先ほど、難聴地域のお話を申し上げたのは、ラジオの関係での難聴調査でございます。今ご質問いただきました同報系の防災行政無線ということでスピーカーによる放送、ということになります。こちらにつきましては、平成26年から整備を開始しまして、5年程度で整備を完了させるという、まだ途中の状態でございます。全体的な設置の基数は6基程度を予定しておりますので、今後設置場所につきましてはよく検討させていただいて増設してまいりたいと考えております。</p>	<p>【危機管理課】進捗・対応状況:対応予定 皆川地区における今後の同報系防災行政無線の整備につきましては、「北柏倉・南柏倉地域」「小野口地域」「志鳥町・城南地域」を予定しておりますが、地形の特性を考慮しながら具体的な設置箇所を検討してまいります。</p>
12	参加者	<p>この度、防災ラジオ各自治会の方にいただきましてありがとうございます。ただ私もFMくららを聞くのですが、田舎の地区ですと表に出ると電波が取れるのですが、家の中に入ると聞こえなくなっちゃうんですね。それでこの防災ラジオを私の自治会の方にいただきまして設置したとして、取れるか(聞こえるか)というのが疑問なところがあるのですが、どうしても小さなFM放送ですので、出力の方も小さなものという形になると思うのですが、先ほどの話しの中で難聴地域の調査をするということがありましたので、これをこれからもよく活用できるようになるべく早急に対応願いたいと思います。よろしく願いいたします。</p>	<p>そのように対応していきたいと思います。</p>	<p>【危機管理課】進捗・対応状況:対応予定 難聴地域の調査の結果、西方地域の真名子地区から岩舟地域の小野寺地区にかけての市内北西部の山間地域及び国道50号以南の地域が難聴地域であることが確認されました。 難聴地域の解消対策としては、北西部の山間地域については、光ケーブル回線を利用して、集落ごとに簡易無線中継局を設置して中継放送を行う方法が考えられます。 また、国道50号以南の地域については、藤岡地域の旧三鴨保育園に設置してある三鴨中継局の送信出力を上げるとともに、三鴨中継局の送信アンテナを増設して難聴地域に電波を送信する方法が考えられます。 なお、いずれの方法も総務省との協議や許可等が必要となることや、詳細設計に3ヶ月、工事や電波の調整・確認等に5ヶ月、設計業務や工事の発注手続きにそれぞれ1ヶ月半の期間を要することから、難聴地域への対応は平成29年度末になると考えております。</p>
13	参加者	<p>メディカルセンターの件です。市民がどれだけ診療に寄与する必要があるのかどうか、ということについてちょっとお伺いいたします。実は3年ほど前に、私事ではありますけれども、定期健診で再検査の必要があるという案内がきまして、当時の下都賀病院に診療に行きました。3か月ごとに行っていました。1年経っても検査の内容は全く同じことで、さらに、新たな視点での検査というのは全くない。自分の症状としてはまったく改善されなくて、だんだん不安になってホームドクターにも相談しました。いかがなものかと話を続けてきて、日常の状況を記録に残して、時々呼吸器内科のドクターに資料を郵送して面談に行ったんですね。その時のドクターの言葉が、自分も午前中は外来の診療と、午後は院内の病棟の診察で非常に多忙である。今以上の検査は難しいと、こういうような話がありまして、私はそれじゃあ別の病院に行くから帰ります、と話をしましたら、じゃあ紹介状を書きましょうかとおっしゃるんで、私がホームドクターに書いてもらうということで、その先は自治医大病院に。そちらに行ったら、一人のドクターではなくて、数人のドクターが患者さんの状況を共有して、それで対応策を、こういう検査を試みようということですね、別の菌が見つかって、別の処方してもらったという経緯がございまして、下都賀病院に関しては、限界があると感じておりまして、ただ、市民として近いところの方が楽なんですね。何が聞きたいかという、新しくメディカルセンターができて、民間で言う売上高ですね、診療時のノルマがあるのかどうか、その辺をお聞きしたい。</p>	<p>メディカルセンターのノルマがあるのか、というようなご質問と思いますが、当然、メディカルセンターにつきましては、先ほど市長から説明がありましたように、いろいろと地域医療のための役割がございます。病院の開設にあたりましては、市・県・国からも多額の助成等をしておりますので、将来にわたって、持続可能な経営を行っていただく必要がありますので、市長の方からも使うときには使っていただきたいという話がありました。そういったこともありまして、当然安定した経営をやっていかなければならない。当面はオープンしたばかりですので、若干は赤字が出るのかと思いますが、今後、そうしたものが数年後には黒字に転じるというような、中期経営計画というものを作っておりますので、メディカルセンターの方は多額の借入れを行っておりますので、そういった借入れを20年間にわたって、確実に返していくという経営計画をつくっておりますので、そうした中で安定した経営をしていただくようにということで、我々期待をしております、市民一人当たりいくぐらいの利用があるとか、具体的なものはございませんが、当然質の高い医療を提供していただくと共に、安定した経営を行っていただく必要があると思っております。答えになったかどうかわかりませんが、以上でございます。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(栃木地域)

皆川地区

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
14	参加者	今、メディカルセンターの話がずいぶん出ていたのですが、実は先月の14日に私の義理の母がメディカルセンターで亡くなりました。できればお願いしたいことが、看板がなさすぎるというのが一番に感じました。危篤と言われて、電話をもらってきた人が間に合わない。バイパス通ってきて、メディカルセンターが見えるのだけれども、どこを入れて行っているのかわからない。よそから来る人はかなり困ると思うので、細かくできたら、早めに看板の方を設置して頂けたら有り難いと思うのでよろしくお願いいたします。	看板について、回答させていただきます。新病院につきましては、4月30日に開業いたしました。開院後直後においては、看板がまだ立っていないという状況があります。看板につきましては、市の方で、県道、バイパスの方からの道路とか、あるいは周辺の市道の主だったところにつきましては、現在は看板を設置したところでございますので、今は改善されているところをご理解いただきたいと思います。	【健康増進課・都市計画課】進捗・対応状況:対応済 「とちぎメディカルセンター」担当課と公共サインの担当課が連携を図りながら、12月議会にて補正予算を組み、市民から要望があり必要性の高い4箇所に、新たな案内板を設置いたしました。(工期:1月30日～3月10日)
15	参加者	支援学校の西側の開発ということで要望を出したのですが、皆川地区の川東の方はある程度、区画整理、農地の整備も終わり、永野川緑地公園もあるということで、比較的住みやすい環境になりつつあるんですが、永野川から西につきましては何もありません。今のところは城址公園一辺倒でやっているわけですが、この間大平のゆうゆうプラザにお邪魔しまして、2～3時間ゆっくりしてきたのですが、町にはなぜかああいう温泉施設がありますよね。旧栃木市にはそういった施設がない。これから高齢者のみなさんが増えてきますので、あそこらへんをターゲット、あるいはゲートボール、いろいろな施設を併設した大型の憩いの場、そういった部分をどうか、ということで提案でございます。町の施設は使用規制はないと思いますが、もう少し大型化した、栃木市以外、小山市や佐野市から、あるいは栃木県全体がイベントができるような大きな施設を検討して頂きたいと思うのですが、いかがでしょうか。	確かに永野川の西側については、これといった施設がないというような状況でございます。ゆうゆうプラザですとか、あるいはイベントの出来る施設というようなことでございますけれども、回答にもありますように、あの地域につきましては、農振農用地ということで、開発をするにはちょっと難しい地域である、というのが大前提としてございます。いずれにしても、総合計画の中でこういった位置づけをしていくかについては、今後総合計画の改定も予定しておりますので、その時にいろいろ考えていきたいと思います。ただ、今、市の施設は再配置計画というものをつくっております。施設が多過ぎるだろうというようなことで、整備、統合についても検討しているところでございます。そういったタイミングでもございますので、要望についてはよく分かりますので、検討はさせていただきたいと思っております。早急にという話になると難しいかなという風には思っております。いずれにしても、今後みなさまと一緒に検討させていただきたいという風には考えております。	【左記回答要旨のとおり】
16	参加者	火葬場のことです。今現在の栃木の火葬場は時間が長い。お釜に入ってから、出てくるまで。できればもう少しスピーディにお願いできればと思っておりますので、お釜の数がいくつか、など分かる範囲でお話いただければと思います。それと、休憩所などどうなっているのか、分かる範囲でけっこうです。	現在の斎場でございますが、炉は5基でございます。新斎場につきましては、少産多死の時代を迎えるという事もございまして8基ということで計画をさせていただいております。火葬の時間ですが、現在おおむね1時間40分程度で火葬の全体の流れを計画させていただいております。新斎場につきましても、その時間につきましては、だいたい同じになろうかと思っております。というのは、焼却をしている時間と併せて、収骨ができるように冷ます時間がどうしても必要でございます。それを短くすることになりますと、火力を強めて、焼却時間を短くしなくてはならないんですね。そうしますと骨が残りにくくなるという事ですか、灰になってしまう可能性が高くなるものですから、一般にだいたい1時間40分から45分程度で計画がされております。最近の炉、宇都宮が10年ぐらいになりますが、約1時間45分ということで聞いておりますし、今年の4月にオープンをした長野県の佐久平斎場というのがあるのですが、一番の最新型ですが、やはり同じように1時間45分で計画をしていると聞いておりました新斎場につきましても、現在と同程度の時間、どうしても燃やす時間と、冷却をする時間、どうしてもそれくらいかかるということになってしまうものですから、ご理解頂ければと思います。	【左記回答要旨のとおり】

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(栃木地域)

皆川地区

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
17	参加者	<p>渡良瀬遊水地のところに、エンメイ寺というお寺だと思うのですが、廃寺になっているお寺があるんです。廃寺になっているお寺のお墓や墓石が草ぼうぼうの中に、放置してあるものですから、あの部分でできれば供養塔などを作って、昔ここにあったんだという位置づけもあっていいのかな、と。供養塔を建てなくても、ここにお寺があったということで、お墓が散乱しているので、お寺があったという事でまとめておいてもいいんじゃないかな、という気はします。</p>	<p>供養塔、直接的には市の方では墓地につきましては、経営の許可の事務などはやっております。聖地公園の墓苑などは市営ということで作っておりますけれども、そのエンメイ寺という廃寺という話でございましたが、現状はどうなっているのかちょっと承知しておりませんので、何が出来るかは戻って検討させていただきたいと思っております。が、宗教法人の供養塔となりますと、行政側では宗教の関係は手が出せないということもございまして、現時点では、今この場では難しいとは思いますが、戻って検討させていただきたいと思っております。</p>	<p>【遊水地課】進捗・対応状況：一部対応 延命院跡や墓石群をはじめ、役場跡や雷電神社跡が残る遊水地内の谷中村史跡保全ゾーンにつきましては、来訪者に対して史跡の歴史等を伝える看板を、平成29年3月に設置いたしました。 遊水地の活用のための基本計画である「ハートランドプラン」では、谷中村史跡保全ゾーンの整備と保全についてを掲げており、今後、河川管理者である国土交通省や民間団体等関係者と連携しながら歴史的資源の保全に努めてまいります。</p>
18	参加者	<p>大岩橋から対領橋まで、台風の際に永野川の水量が増えたときに、竹とか木にまで水位があがってくるので、相当川の流が変わっているのが現実です。地元の方で木を処分するというのは大変ですので、市の力をいただきまして、早急にこれをなんとかしないと。台風の時期には流れが変わって大変なことになると思っていますのでよろしくお願ひしたいと思います。</p>	<p>大岩橋から対領橋まで、市が担当してやらせていただいている桜づつみということで、草刈も地元と我々で状況を良くしているわけですが、どうしても川側がかなり荒れているということは承知しております、県の方も担当が何回か変わるわけなのですが、再度強くプッシュしてまいりますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>
19	参加者	<p>自治会の町会から出ている要望と質問を申し上げます。鳥砂自治会の中には東宮神社があります。東宮神社の参道が通っておりますが、その参道が高速道路と交差しています。そのアンダーパスのところ非常に暗い。そこが城東小学校の通学路になっている。天井の蛍光灯は道路公団が言うとすぐに直してくれます。それに対して、壁際に市の方で蛍光灯を付けてもらったのですが、それが切れる。で、いくら言っても直らない。要望はその電気を付けてください、ということです。直してください、ということです。それと、質問はどこに連絡をすればすぐにやってもらえますか、ということです。以上です。</p>	<p>教育委員会と建設水道部の方で調整して、ご報告させていただきます。また、すぐに対応いたしますのでよろしくお願ひいたします。</p>	<p>【交通防犯課】進捗・対応状況：対応済 交通防犯課が防犯灯として維持管理をしております。電灯切れ等の際には、交通防犯課(21-2151)までご連絡いただきますよう、お願ひいたします。なお、蛍光管につきましては交換いたしました。</p>

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(栃木地域)

皆川地区

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
20	参加者	<p>一昨年になります市長さんの方に、新井の公民館で赤津川の橋、7本ある。かなりの老朽化となってるので計画的に架け替えをお願いしますとお話したと思います。昨年の豪雨で鹿島森橋が落ちました。その時、直接聞いていないのですが、架け替えるとか、架け替えないとか、最終的に自治会長のところに来られて架け替えませんという話になったらしいのですが、残り6本ある橋ですが、今後そのように橋が落ちた場合、架け替えというのはいないのかどうか、判断基準はなんなのかを一つ教えて下さい。</p> <p>新井橋を補修していただいたのですが、その時に下流の樋口橋をう回路となっていました。樋口橋の東側ですが、昨年の豪雨で、舗装のところから直角に土砂が流れておりまして、非常に危険な状態でした。これで本当にう回路にするのか、と前の自治会長さんに言いましたら、市の方がすぐに来て、路肩注意の杭を7本打って行かれました。これがずっとそのままになっているのですが、これも要望書を提出しないと市の方として動いていただけないのかどうか。私個人としては非常に危険だと思っているのですがいかがでしょうか。</p> <p>新井橋、樋口橋は幅が広いです。その他に3本橋があります。そこは幅が狭くて、西側から渡った場合は曲がれないのです。ですから農家の方が渡るとき、みんな直線で渡っていくほかないんです。ですからその橋がなくなってしまうと、行けなくなってしまうのですよ。もし架け替えないのであれば、土手の道幅を広げないと、車が曲がれない。橋ですからお金がかかるのは十分承知しているのですが、架け替えないのであれば、そういうところを考慮していただかないと、みんな田んぼに行きませんよとそういう感じになってしまいますので、ひとつよろしく願いいたします。</p>	<p>今回の豪雨災害ですね、橋梁につきましては、インターのところの上下の橋梁につきましては地元の方と相談させていただきまして、撤去させていただきました。上流側につきましては新たにナガミヤ橋ということで新しい橋を建てております。下流につきましても、新たに、今後、橋を中心に道路のネットワークを組もうと考えております。すべての橋を、落ちたらダメにするということではなくて、やはり道路のネットワークと考えながら橋梁の架け替え等を考えております。基本的に赤津川につきましては、橋梁がたくさんありまして、すべての橋梁について橋梁の長寿命化ということで点検をさせてもらって、橋梁の延命化を図っております。その中で対応していきたいと考えております。</p> <p>路肩注意のところにつきましては、たぶん暫定的にやったのだと思いますので、もう一度その後の対応につきまして、ご報告させていただきたいと思っております。</p> <p>橋につきましては道路のネットワークを基本に考えていきますので、曲がれない様な橋については当然、曲がれるようなネットワークを組むように考えていきたいと思っております。細かい話がたくさん出ましたので、一回現場の方に担当が行きまして、再度現場を確認しながら今後の方向性等につきましてはもう一度ご説明させていただきまますのでよろしく願いいたします。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】 ※平成28年9月28日付けで、自治会長から同じ内容の質問書を受けまして、平成28年10月31日付で、左記回答要旨のとおり自治会長あてに回答済みであります。今後、地元と道路に関する整備手法等を検討してまいります。</p>

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(栃木地域)

皆川地区

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
21	参加者	<p>公民館の西の芝生関係のことで。前回、3年ぐらい前に話をしました。市長の判断で、施設課から芝刈り機を借りられるよう検討しますということを知っています。3年経ちましたので、その検討の結果を教えてください。ありがとうございます。この柴の件は、クラブと覚書があるというのを誰も知らない。その辺も、長々と続けば、あの時は覚書があるわけだからどうなんだということになると思います。</p> <p>問題は、70、80の人が機械を借りて、事故を起こしたらこの責任だということになるんですよ、最後は。この辺だけはきちっとやっていたらいいんじゃないかと思ってお願いしたわけです。</p>	<p>覚書につきましては、ターゲットバードゴルフクラブとグランドゴルフクラブとの管理につきまして、そちらの方で管理を行うという覚書がございます。その芝刈りに機につきましては、両クラブが管理をするということで毎回市の土木課の方に私が話をしまして、借り受けて管理していただいている。そういうことで、そのような経緯的なことはお話し上げているかと思いません。</p> <p>公民館主体となりまして、教育委員会と調整させていただきまして、早急に動いていきたいと思っておりますのでご了解いただきたいと思っております。</p>	<p>【公民館課】進捗・対応状況：対応済</p> <p>芝刈り機につきましては、運搬の際の危険性も考慮して、公園緑地課所有の芝刈り機を借受け、その保管場所を皆川公民館にすることとなりました。</p> <p>今後は芝刈り機が常時、皆川公民館に保管されることとなりますので、運搬の際の危険が回避され、利便性が向上すると思っております。</p>
22	参加者	<p>地元のこととは関わりなくて申し訳ないのですが、栃木市民全員に関わる、水道水の問題で。私、地元の集まりに出られないのでここに参加させていただきました。2月6日に文化会館で講演会がありまして、テーマが思川開発事業の講演会だったのですが、私全く知らないことがわかりまして、これは大変大事な栃木市民全員に関わる問題だと思って、ここで一市民として一つだけお願いしたいと思って発言させていただきたいと思っております。南摩ダムというのが無駄な公共事業ということでストップしていたら、栃木市も深くかかわる形で再検証が進んでいくということでした。その理由として県南地域で安全な水を、水道水を確保するため、ということで、100%地下水に頼っている市町村も一部表流水、ダムの水を使うという方向がある。その中に栃木市も入っているという事を知りまして、本当に驚きました。多くの人たちが知らないことでありますので、本当においしくて、他の町の人に栃木の水はおいしいよって誇りに思っているような水が、川の水を使うというような方向で動いていることについて、講師の先生は水道水の料金は高くなるし、ぜひ栃木市民の方にこういう問題があるということ伝えていただきたい。という強い願いを持っています。推進するにしてもいろんな問題があるっていうことを知らないままで決まるということとはたぶんないと思うのですが、あまりにも知らない状況なので、ぜひ市としてこの大事な問題を知らせていただきたいという強い要望をお伝えしたいということで発言させていただきました。(要望)</p>	<p>要望として承りました。</p>	<p>要望として承りました。</p>